

2024年11月11日

三井ホーム株式会社

三井ホーム まるひろ川越店に「住まいの総合サロン」をオープン

～気軽に立ち寄れる、暮らしをイメージする LDK を設けた体験型サロン～

三井ホーム株式会社（本社：東京都江東区、社長：池田 明、以下「当社」）は、11月9日（土）埼玉県川越市のまるひろ川越店に「住まいの総合SALON・川越」をオープンしたことをお知らせいたします。



埼玉県内で2か所目の百貨店内常設店舗になる当施設「住まいの総合 SALON・川越」は、当社初の丸広百貨店に常設する住まいに関する相談ができる店舗です。丸広百貨店は1949年の創業以来75年以上にわたり埼玉県で事業を展開し、地域の人々の生活に密着した店舗づくりを行っております。まるひろ川越店は駅からも徒歩圏の繁華街に位置し、地元の人々に長年愛されています。

近年、住まいに対するニーズは多様化し、お客様一人ひとりのライフスタイルに合わせた住まいづくりが求められており、当施設は多岐にわたるご要望に対応可能なサロンです。

来場目的が限定的になり、来場数が伸び悩んでいる住宅展示場に加え、新たな情報発信拠点となる当施設は、年間約1,000組の来場数を見込んでおります。戸建てをご検討のお客様に住宅の新築・土地探し等の不動産の相談、リフォーム担当が常駐する事によるリフォームの相談も含め、今までの当社のサロンには無いリビング・ダイニング・キッチン（LDK）を設け、住まいのリアル感をご体感いただくなど、ワンストップで様々な情報のご提案をすることができます。

また、同フロアに隣接する友の会カードカウンター・外商サロン・イベントを行うギャラリーなども同時にリニューアルを行っており、地元で愛される百貨店へ来場される方々にもお立ち寄りいただき、土地有効活用などのご相談窓口としても活用できます。

本資料は、「国土交通記者会」「国土交通省建設専門紙記者会」「埼玉県政記者クラブ」「川越新聞記者会」にお届けしています。

本件に関するお問い合わせ先 三井ホーム株式会社 マーケティング・コミュニケーション部 コーポレート・コミュニケーショングループ
津田・池本・五十嵐
TEL：03-6370-7562 Mail：kouhou@mitsuihome.co.jp

1. 本施設の概要

本施設は利便性に優れ、平日の仕事帰りや週末にも気軽に立ち寄れる体験型サロンになっています。暮らしをイメージしやすいLDKを設け、住まいのリアルをご体感いただけるほか、住み替え、土地探し、建替え、リフォームなど、様々なニーズにワンストップで対応することができます。

【まるひろ川越店】

maruhiro

- ・運営会社名：株式会社丸広百貨店
- ・階数：地上7階地下1階（屋上あり）
- ・アクセス：埼玉県川越市新富町2-6-1
西武新宿線「本川越駅」徒歩4分、
JR川越線・東武東上線「川越駅」東口から徒歩7分
- ・営業時間：10:00～19:00
※一部、上記営業時間と異なるフロアがございます。
- ・HP：<https://www.maruhiro.co.jp/shops/top/kawagoe>



【住まいの総合 SALON・川越 概要】

 **三井ホーム**
MITSUI HOME

- ・運営拠点：三井ホーム 埼玉・栃木支社
- ・オープン日：2024年11月9日
- ・階数：まるひろ川越店6階
- ・営業時間：10:00～19:00
- ・特設HP：https://www.mitsuihome.co.jp/modelhouse_search/modelhouse/16022

2. 「住まいの総合 SALON・川越」の特長

①暮らしをイメージするLDKを設けた体験型サロン

約40坪のゆったりとした広さを有する当サロンは、従来の百貨店常設店舗にある打合せスペースや情報掲示スペースに加え、リビング・ダイニング・キッチン（LDK）を設け、住まいのリアルをご体感いただけます。インテリアスタイルはジャパニスタイル^{※1}を採用し、トレンドを捉えて内装は定期的に変化させ、当社ならではのインテリアスタイルを発信してまいります。



リビング

②住み替え、土地探し、建替え、不動産活用等、様々なニーズにワンストップで対応

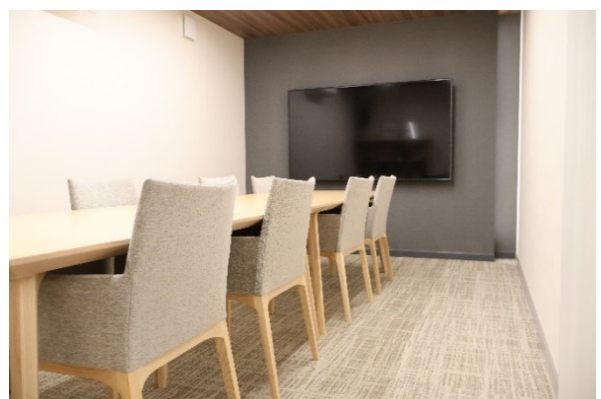
これまで住み替え計画をたてる上で、時間と手間を要していた現お住まいの売却査定や、ご希望の暮らし方に沿った土地物件・建物プランの収集・トータルな資金計画などを、AI機能を利用することで簡易的にシミュレーションし、その場でご提案します。具体的には、住み替えのお客様向けに、現お住まいの売却金額をAI査定シミュレーションツールを活用してその場で提示いたします。また、土地探しのお客様向けに、土地と建物をマッチングして提示するツールをご利用いただきワンストップでのご提案が可能になります。さらに、リフォーム担当者が常駐しているので、その場でリフォームの相談も可能です。LDKを設けることにより新築建物の詳細な打ち合わせも可能となっています。

③駅近で気軽に立ち寄れる快適さ

駅から徒歩圏に位置し、お客様は平日の仕事帰りや週末に気軽に立ち寄り、19時まで営業しているため、忙しい中でも無理なく来店が可能です。また、隣の区画であるギャラリーを会場としたセミナー・相談会を定期的を開催予定です。



ダイニング・キッチン



提案ブース

※1 日本の侘び寂びと北欧のミニマルズムを融合させたインテリアスタイルです。自然素材、シンプルなデザイン、機能性を重視し、温かみと洗練さを両立させた空間が特徴です。

【三井ホームは MOCX Green Project を推進します】

https://www.mitsuihome.co.jp/company/mocx_green_project/

MOCX Green Project とは、これまでに 25 万棟以上の木造建築をつくってきた当社が、さらなる木造建築の可能性を広げ様々な取り組みを通じて脱炭素に貢献していくプロジェクトです。



■三井不動産グループのサステナビリティについて

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

また、2024 年 4 月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の 6 つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取り組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】・「グループ長期経営方針策定」

<https://www.mitsuifudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>

・「グループマテリアリティ」

https://www.mitsuifudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/

* なお、本リリースの取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）における 5 つの目標に貢献しています。

目標 11 住み続けられるまちづくりを
目標 12 つくる責任つかう責任
目標 13 気候変動に具体的な対策を
目標 14 海の豊かさを守ろう
目標 15 陸の豊かさを守ろう



本資料は、「国土交通記者会」「国土交通省建設専門紙記者会」「埼玉県政記者クラブ」「川越新聞記者会」にお届けしています。

本件に関するお問い合わせ先 三井ホーム株式会社 マーケティング・コミュニケーション部 コーポレート・コミュニケーショングループ 津田・池本・五十嵐

TEL : 03-6370-7562 Mail : kouhou@mitsuihome.co.jp

&EARTH with **WOOD**